



柳川自校だより

令和 7 年

6 月 号

〒 839-0242

柳川市大和町豊原1 0 0

TEL 0944-72-5371

柳川自動車学校

FAX 0944-72-5373

6月といえば“**梅雨シーズン到来**”で、しとしとと降る雨が続き、外出するのも億劫になるこの季節ですが、特に気を付けたいのが、「雨の日の運転」です。

雨の日は晴れの日に比べて交通事故のリスクがグンと上がります。

そこで今回は、梅雨時期に安全運転するための6つのポイントを紹介します。



梅雨時期に安全運転する6つのポイント!!

① スピードはいつもより控えめに！

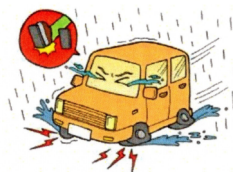
- 雨で濡れた道路は滑りやすく、ブレーキの効きも悪くなります。

雨の影響でタイヤと路面の摩擦力が低下します。

- 急ブレーキや急ハンドルは、スリップの原因になります。

ハイドロプレーニング現象が起こるとハンドル操作も効かなくなります。

↑(道路とタイヤの間に雨水が入り込み、車が浮いた状態になることで、スリップしてハンドルもきかなくなる)。



② 車間距離はしっかりキープ！

- 視界が悪くなるうえに、止まるまでの「**制動距離**」が長くなります。

↑(ブレーキを踏んでから止まるまでの距離)

だからこそ、車間距離は普段の2倍を意識！

③ ワイパーとライトの点検を忘れずに！

- ワイパーのゴムは、劣化しているとフロントウィンドウの視界が悪くなります。

キレイに水が拭き取れないと視界がぼやけてしまい危険です。

特に夜間の運転で視界不良だと、追突事故や交通事故のリスクが高くなります。

- 雨の日は昼間でもライトON！ワイパーゴム交換も定期的に！

視界良好&ライトONで周囲への存在アピール、安全性アップを心掛けましょう。



④ タイヤの溝と空気圧をチェック！

- タイヤの溝が浅いと「ハイドロプレーニング現象」が起こりやすくなり、ハンドル操作が効かなくなることもあります。

- タイヤの溝は、雨の日対策だけでなく、乗り心地やハンドル操作にも大きく影響します。

タイヤの空気圧や溝の状態を定期的に点検しましょう。

⑤ 曇ったガラスはすぐ除湿！

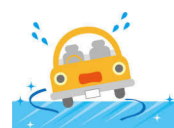
- ガラスが曇った時は、視界が悪くなるため、**エアコンの除湿機能やデフロスター**を使って、**クリアな視界を確保**しましょう。

⑥ 水たまり・冠水道路には注意！

- パッと見、浅そうに見える水たまり。実は意外に深かった…なんてことも！

無理に突っ込まずに避けて通るのがベスト。

冠水道路に出くわしたら、迷わず引き返す勇気が大切です。



※ 雨の日こそ「ゆとり」を大切に！！